

J-BADO 結果（2016年4月～6月）

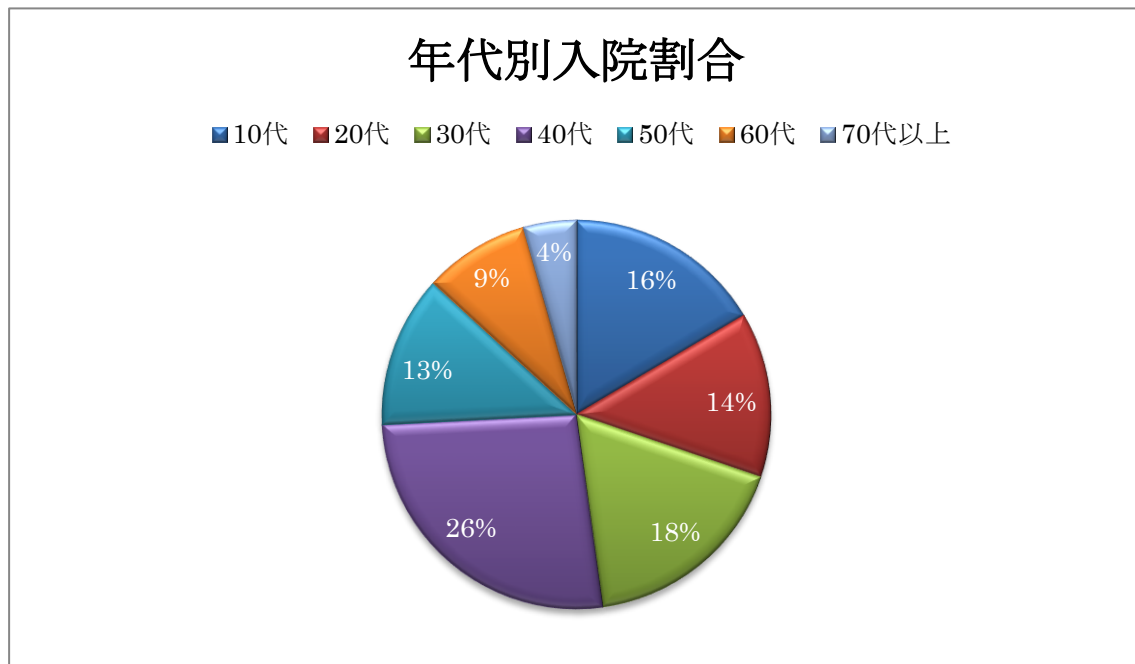
※依存症病棟、医療観察法病棟を除く全病棟の新規入院

2016年4月～6月新規入院数

合計	一般病棟				専門病棟	
	救急	高度ケア	地域移行 支援	身体ケア	ストレス ケア	思春期
182	116	2	4	3	31	26

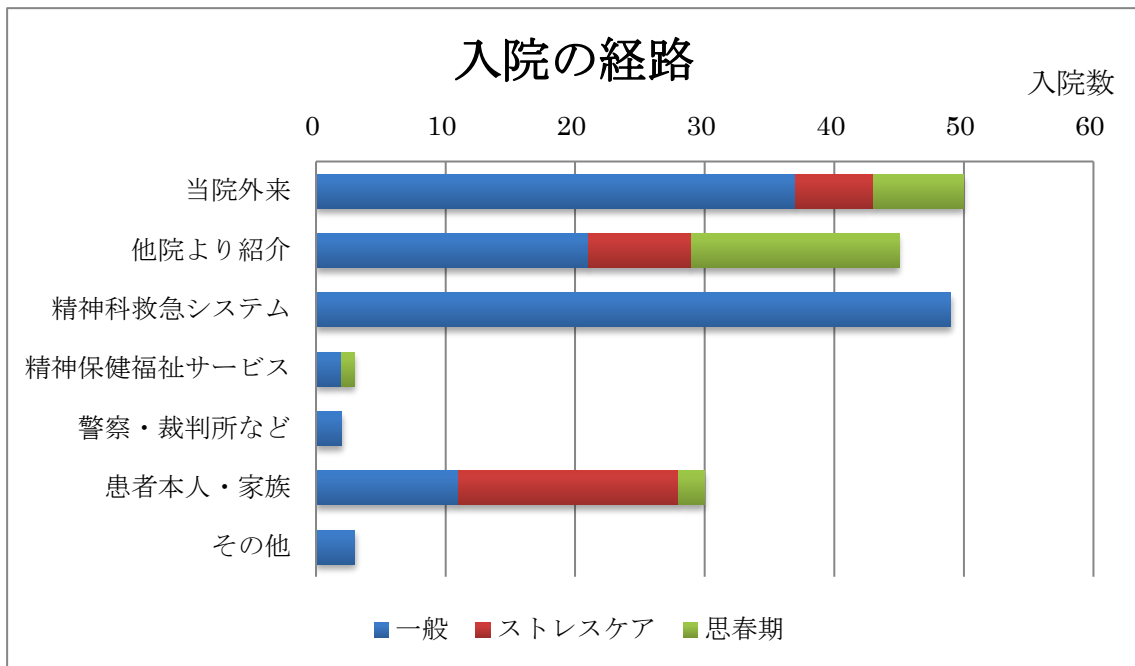
※今回は、一般病棟、ストレスケア病棟、思春期病棟の3つに区分して表示した。

2016年4月～6月新規入院例



※40代が最も多い。

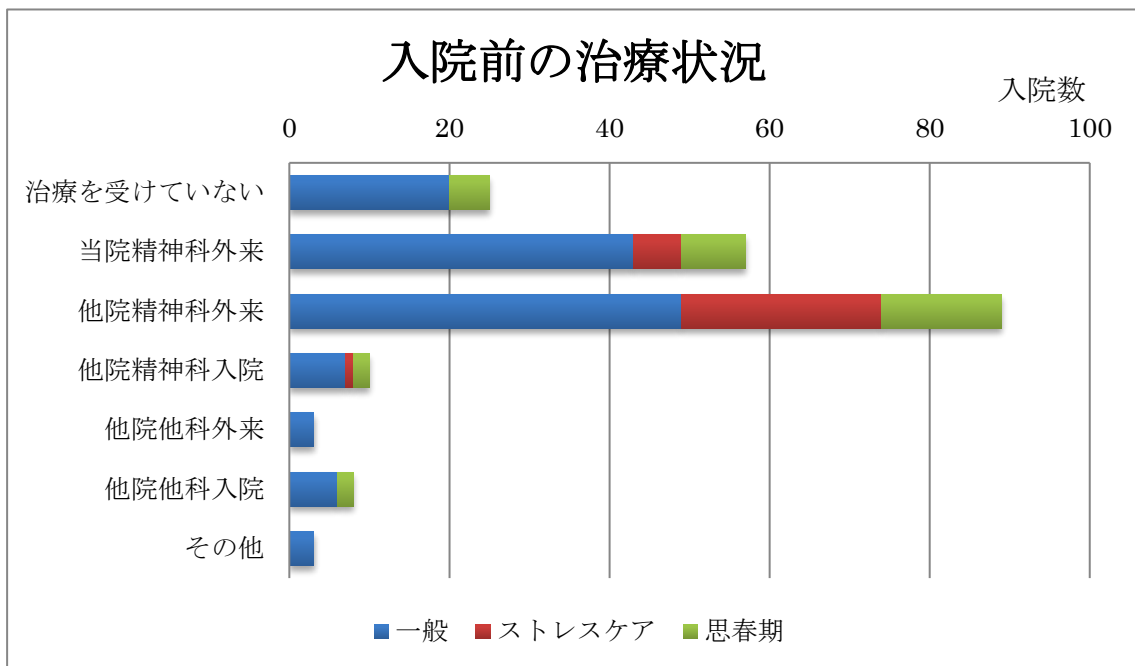
思春期病棟があるため、10代の入院も多い。



※一般病棟では、精神科救急システムが最も多い。

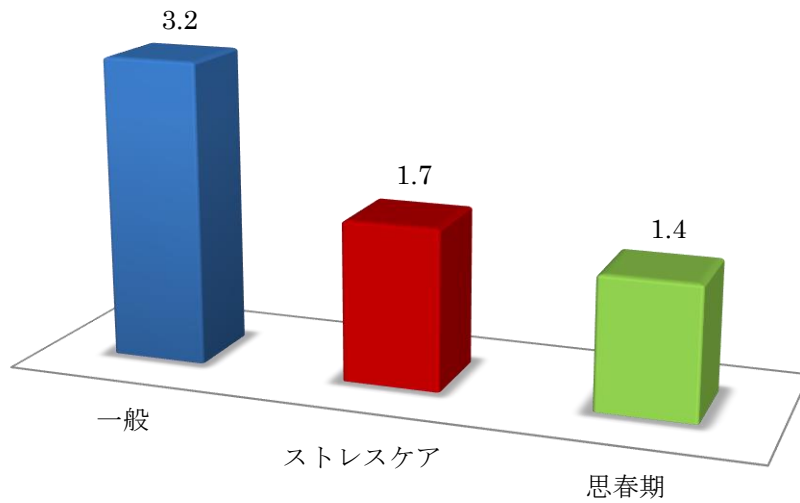
ストレスケア病棟では患者本人・家族からの依頼が最も多い。

思春期病棟では他院からの紹介が最も多い。

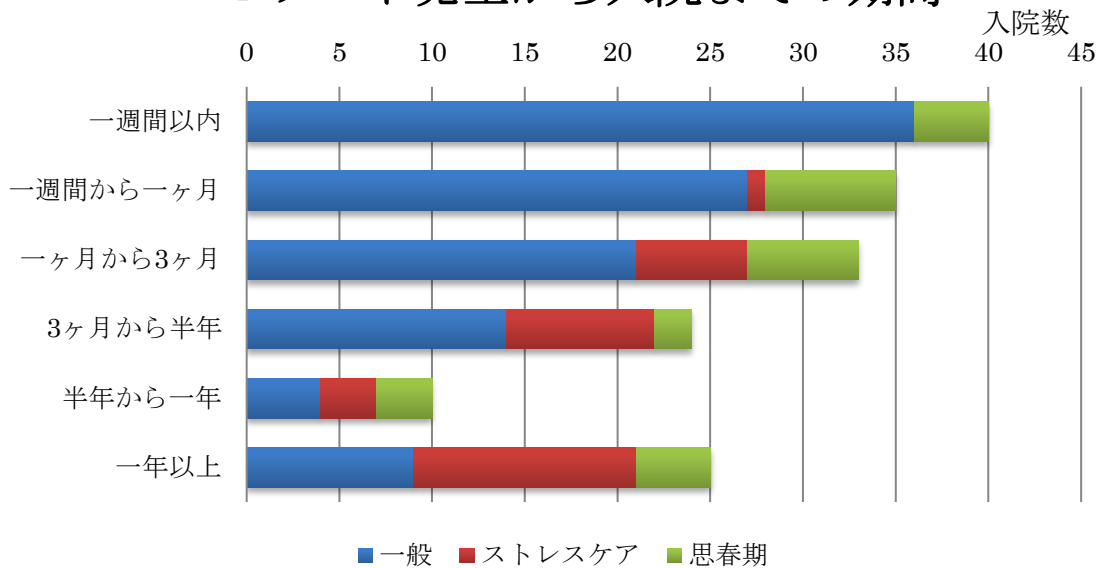


※すべての病棟で、他院精神科外来で治療を受けているケースが最も多い。

過去の精神科入院回数（平均）

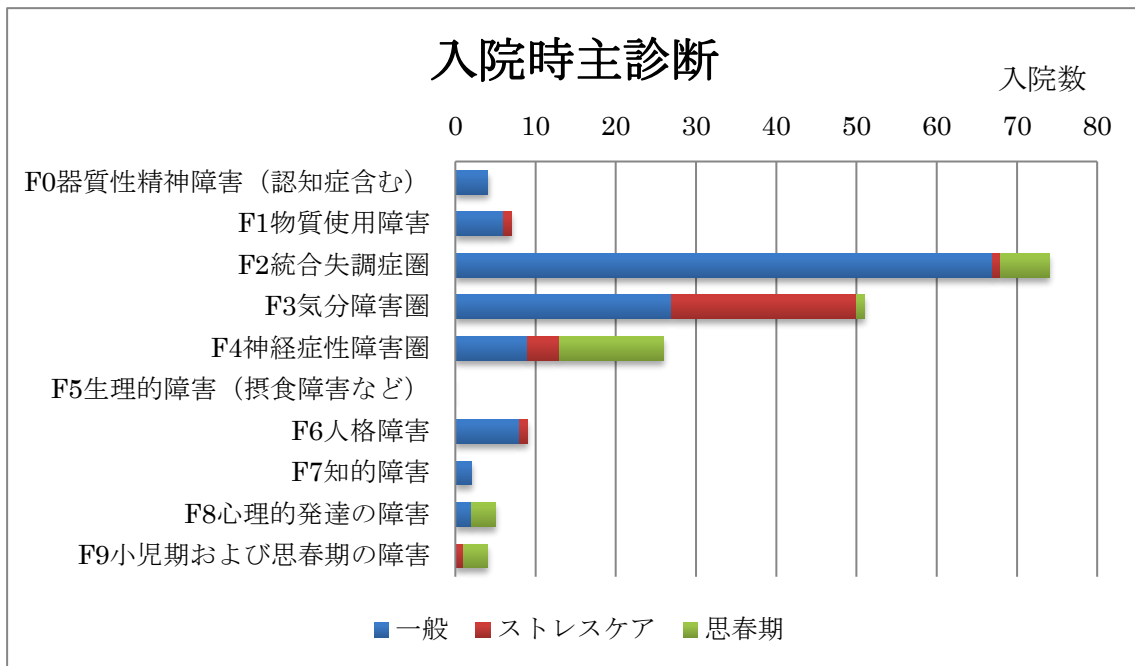


エピソード発生から入院までの期間



※エピソード発生から入院までの期間（発症または今回の病状悪化から入院に至るまでの期間）は、一般病棟と思春期病棟では、3か月以内が7割近くを占める。

対照的に、ストレスケア病棟では3か月以上経過しての入院が7割以上を占める。



※ICD10 に基づく入院時主診断である。

一般病棟では統合失調症圏が、ストレスケア病棟では気分障害圏が、思春期病棟では神経症性障害圏が最も多い。